

平成28年度事業の概況

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

平成28年4月14日、熊本県においてM6.5の前震が発生し、16日にはM7.3の本震が起き、いずれも最大で震度7を観測しました。その後も震度6強などの強い地震が断続的に発生しました。一連の地震により多数の方々が亡くなられ、多くの住宅が全半壊しました。文化財の熊本城の瓦や石垣が崩落し、甚大な被害が生じました。将来、日本のどこにおいても、巨大地震が発生しうることを想定する必要があるように思われます。

医療界におきましては、オプジーボなどの「高額薬剤問題」が急浮上し、薬価の決定方法の問題並びに医薬品の高騰が保険制度の根幹を揺るがしかねないこと等、高額医療の問題が表面化する年となりました。

金融界におきましては、日銀は平成28年1月にマイナス金利を導入したことにより、長期金利は過去最低を更新しました。9月には、金融緩和の歪みを調整するために、「長短金利操作付き量的・質的緩和」を発表しましたが、金融政策の手詰まり感が表面化したものと思われます。

当組合では、第二次中期経営計画に沿って、『新しい可能性に挑戦する』としております。勤務医の新規開業資金や住宅ローン等の資金需要を取り込むために、公的病院でのプレゼンテーション、税理士やコンサルティング会社へ働きかけております。また、低金利の新商品の発売や住宅ローンの金利引き下げ等より、借り易さの醸成に努めております。

当組合としましては、先生方のお役にたてるよう、預金金利は出来る限り高く、貸出金利は出来る限り低く設定しております。その結果、平成29年3月末の実績につきまして、預金の年間増加額は751百万円、年間増加率は2.4%となり、安定的な増加を図ることができました。また、貸出金の年間増加額は389百万円、年間増加率は6.9%の伸びを示しました。収益につきましては、99百万円の当期純利益を確保し、計画を上回りました。経営体力につきましても、自己資本比率は35%と極めて高い水準を維持しております。組合員増強運動の実績につきましては、新規加入者は勤務医の先生を主体として、年間で70名加入し、増加数は44名となりました。

今年度も、当組合の使命達成のため邁進したく、引き続き当組合をご利用賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(単位：百万円)

| 主 要 勘 定 | 当期末(29.3.31) | 前期末(28.3.31) | 増 | 減 |
|---------------------|--------------------|--------------------|------------------|-------|
| 総 預 金 (期中平均残高) | 32,286 (31,890) | 31,534 (30,457) | 751 (1,433) | |
| 総 貸 出 (期中平均残高) | 6,027 (5,851) | 5,638 (4,830) | 389 (1,021) | |
| 有 価 証 券 (期中平均残高) | 20,602 (18,636) | 19,613 (18,348) | 989 (288) | |
| 預 け 金 (期中平均残高) | 13,244 (12,775) | 11,075 (10,815) | 2,169 (1,960) | |
| 経 常 利 益 | 137 | 143 | | △6 |
| 当 期 純 利 益 | 99 | 102 | | △3 |
| 自 己 資 本 比 率 | 35.00% | 35.52% | | △0.52 |
| 組 合 員 数 | 1,312 | 1,268 先 | | 44 |